

会 告

[ゴシック体は本会主催]

開催日	催物ご案内():開催地	参加費 (テキスト代)	申込締切 期日等	掲載号
12月3日(木)	令和二年度 有機合成化学協会東海支部 東海支部総合講演会(WEB)	無料	11月25日	本号
5日(土)	第35回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー(WEB)	無料	—	本号
5日(土)	第32回若手研究者のためのセミナー(WEB)	無料	11月20日	—
12日(土)	第32回万有札幌シンポジウム 有機合成化学の道しるべ(WEB)	無料	12月7日	本号
24日(木)	理研-星薬科大学-東北大学大学院薬学研究科シンポジウム(WEB)	無料	12月21日	第78巻10号
2021年 1月18日(月)	有機合成新春講演会(WEB)	無料	—	本号
22日(金)	第5回 FlowST シンポジウム(東京)	無料	1月15日	本号
2月5日(金)	有機合成2月セミナー「有機合成のニュートレンド2021」(WEB)	—	1月15日 300名	本号
25日(木)	近化資源・環境セミナー「温暖化から地球を守る, 環境対応型プラントの展望」(WEB)	—	80名	本号
17日(木)	有機合成化学協会 令和3年度(第84回)通常総会(未定)	—	—	—
6月24~25日(木~金)	第118回有機合成化学シンポジウム	—	—	—
9月15~17日(水~金)	第37回有機合成化学セミナー(広島)	—	—	—

本誌会告への掲載について 本誌会告欄では、本会の本部・支部が主催または共催する催しものについては必要な範囲で全文を掲載いたします。他学協会等の主催するもので、本会が協賛の催しものは一部の内容のみの掲載とさせていただきます。協会HPにも掲載しております。原稿締切は掲載号の前々月25日(2021年2月号は12月25日)厳守です。なお、開催の可否等、詳細は主催団体のHPをご覧ください。

令和二年度 有機合成化学協会東海支部 東海支部総合講演会

主催 有機合成化学協会東海支部
協賛 有機合成化学協会

日時: 12月3日(木)

開催方法: オンライン

プログラム:

1. 開会挨拶(岐阜大学工学部教授)村井利昭
2. 「触媒的骨格転位による新しい合成手法の開拓」(東北大学大学院理学研究科・巨大分子解析研究センター准教授)中村達
3. 「ニッケル触媒による共役ジエンの多成分連結反応」(東京大学大学院工学系研究科准教授)岩崎孝紀
4. 閉会挨拶(名古屋工業大学大学院工学専攻教授)柴田哲男

参加費: 無料

参加方法: 11月25日(水)までに申し込みフォーム(<https://www.cstc.or.jp/enq/input/?hid=61f4fbab3b0b397affd18d750cbdda31>)からご連絡下さい。Zoomを使用するオンライン会議IDとパスワードのお知らせを招待メールとして送付します。

問合せ先: 466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学大学院工学専攻生命・応用化学系プログラム 平下恒久 (TEL 052-735-5626, e-mail: hirasita@nitech.ac.jp)

第35回有機合成化学若手研究者の 仙台セミナー

主催 有機合成化学協会東北支部
共催 東北大学大学院薬学研究科

日時: 12月5日(土)

開催方法: オンライン開催

講演:

1. ジアステレオ選択的エポキシ化反応を用いた光学活性アンチβ,δ-ジヒドロキシエステルの合成(東北大院理)富川真至
2. Grubbs触媒を用いたアミン類の酸素酸化による新規ニトリル合成法の開発(東北大院薬)野田健太
3. Ni(II)キラルシッフ塩基を用いたDLアミノ酸の動的速度論的光学分割に関する研究(山形大理工)長岡敬太
4. Brefeldin Aの構造に基づくペプチドアルカロイドライブラリーの構築(東北大院薬)佐藤由希
5. 強酸性キラルプレンステッド酸触媒による単純オレフィンとグリオキシラートとの不斉変換反応の開発(東北大院理)相澤佑季
6. HSiEt₃/I₂によるアルキンのヨード水素化及び(Z)-選択的還元反応の開発(東北大院薬)野口小都

7. Cr/ニトロキシラジカル触媒系による分子内脱芳香族的フェノールカップリング(東北大院薬)藤木翔吾
8. ヨードトリメチルシランの脱離を鍵とした低配位ケイ素化合物の合成(東北大院理)佐々木隼人
9. 複合プレンステッド塩基による芳香族化合物のカルボキシル化反応(東北大院薬)花坂和也
10. 嵩高いアルキル基により立体保護された新規ゲルマニウム二価化学種の合成とその酸化反応(東北大院理)大島一真
11. Synthetic study for cyclodepsipeptide teixobactin(東北大院薬)趙泓斌
12. 有機触媒を用いた軸不斉分子のエナンチオダイバージェント合成法(東北大院理)越野晴太郎
13. ロジウム触媒を用いるペプチドジスルフィド結合の多様な化学修飾反応の開発(東北大院薬)福本昂平

参加費：無料

問合先・連絡先：980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院薬学研究科 徳山英利・植田浩史(TEL 022-795-6887 or 6878, FAX 022-795-6877, e-mail hidetoshi.tokuyama.d4@tohoku.ac.jp, hirofumi.ueda.d8@tohoku.ac.jp)

開催方法：オンライン

プログラム：

1. 芳香族化合物の遷移金属触媒反応(阪大院工)三浦雅博
2. 高反応性セレンアルデヒドの生成からセレン糖骨格構築への応用まで(金沢大理工)千木昌人
3. 遠隔位不斉誘導における5オングストローム仮説：動的不斉、動的分子認識制御に向けたアプローチ(京大化研)川端猛夫

参加費：無料

参加申込方法：HP (<http://www.soc-kansai.org/event/2021/2021shinshyun.html>)からお申し込み下さい。もしくは、「[新春講演会]参加申込」と題記し、氏名、所属、連絡先(e-mail, TEL)を明記の上、e-mail等でお申し込み下さい。

問合・申込先：550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 有機合成化学協会関西支部(TEL 06-6441-5531, FAX 06-6443-6685, e-mail: seminar@soc-kansai.org)

第32回万有札幌シンポジウム 有機合成化学の道しるべ

主催 万有札幌シンポジウム組織委員会
協賛 MSD 生命科学財団
後援 有機合成化学協会ほか

日時：12月12日(土)

開催方法：オンライン

演題：

1. 生命科学研究に役立つ分子プローブの創製(東京医歯大生材研)細谷孝充
2. ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦(東大院工)西林仁昭
3. よくある金属錯体の3次元分子改変と集積制御が生み出す新機能(阪大院基礎工)直田健
4. 希土類触媒を用いた新規有機合成反応の開拓と機能性高分子の創製(理研)侯召民
5. 丸岡触媒®を用いる嵩高いアミノ酸の実用的合成から超効率ペプチド合成へ(京大院薬)丸岡啓二

参加申込締切：12月7日(月)

参加費：無料

申込方法：MSD 生命科学財団 HP(http://www.msd-life-science-foundation.or.jp/banyu_symp/symp/sapporo)よりお申し込み下さい。詳細はHPをご覧ください。

申込先：060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院応用化学部門 大熊毅、百合野大雅(TEL 011-706-6598 FAX 011-706-6598, e-mail: 32banyu@sapporo@eng.hokudai.ac.jp)

有機合成新春講演会

主催 有機合成化学協会関西支部ほか

日時：1月18日(月)

第5回 FlowST シンポジウム

主催 産業技術総合研究所
協賛 有機合成化学協会ほか

日時：1月22日(金)

会場：イイノホール&カンファレンスセンター イイノホール(東京都千代田区内幸町2-1-1, HP <https://www.iino.co.jp/hall/access/>)

講演プログラム：

- ・経済産業省研究開発課長 遠山毅
- ・大阪府立大学特認教授 柳日馨
- ・京都大学教授 外輪健一郎

他日本化学工業協会等よりご講演をいただく予定です。詳細につきましては、HP(<https://flowst.cons.aist.go.jp/>)でご確認下さい。

参加登録申込締切：1月15日(金)。現地参加(130名)、Webライブ参加(300名)(定員になり次第申込終了)

参加費：無料

申込方法：HP(<https://flowst.cons.aist.go.jp/>)をご覧ください。

問合先：305-8565 つくば市東1-1-1 中央5-1 産業技術総合研究所フロー精密合成コンソーシアム 第5回FlowSTシンポジウム事務局(TEL & FAX 029-861-4575, e-mail: M-5flowsympo-ml@aist.go.jp)

有機合成2月セミナー 「有機合成のニュートレンド2021」

主催 有機合成化学協会関西支部
共催 日本化学会近畿支部ほか

日時：2月5日(金)

開催方法：オンライン

プログラム：

1. 均一系遷移金属錯体触媒を活用する二酸化炭素を用いた有機合成反応(京大院工)藤原哲晶

2. 日本酒で美味しく、すこやかに(月桂冠)堤浩子
3. ホウ素と π 電子系のインタープレイに基づく物質変換反応と機能化学(東工大科技創成)庄子良晃
4. 複素芳香環の特性を生かして非ベンゼン系共役電子系の魅力を引き出す(京大 iCeMS)深澤愛子
5. 機械学習と有機合成化学(阪大産研)笹井宏明

申込締切：1月15日(金)，定員300名。

参加費：会員(企業)5,000円，大学・官公庁(研究室)10,000円，大学・官公庁(個人)2,500円，シニア会員2,000円，会員外10,000円(テキスト代・消費税込み)。※研究室でお申し込みの場合，研究室に所属の方ならどなたでも聴講できますが，必ず聴講者全員のリストをご提出いただくことになります。研究室でお申し込みをいただいた方には，登録者宛にリスト提出用のフォーム(Excel)をお送りさせていただきますので，ご提出下さい(1月15日締切)。提出いただいた方全員に「Zoom ウェビナー」のアカウントを発行します。

参加申込方法：HP (<http://www.soc-kansai.org/event/2021/2021feb.html>) からお申し込み下さい。もしくは，“「有機合成2月セミナー」参加申込”と題記し，氏名，勤務先・所属，連絡先(住所・TEL・e-mail)，会員資格を明記のうえ，下記申込先にお申し込み下さい。

申込先：550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6階 有機合成化学協会関西支部(TEL 06-6441-5531, FAX 06-6443-6685, e-mail: seminar@soc-kansai.org)

東洋合成記念財団 研究助成の募集

(公財)東洋合成記念財団は2021年度の研究助成の募集を行います。詳細は下記HPをご参照，あるいは下記連絡先にお問い合わせ下さい。

1. 募集要項

(1) 助成対象研究テーマ：

- ・感光性有機化合物，感光性樹脂及びリソグラフィ関連材料に関する研究
- ・新規触媒の開発及びそれを用いた有機合成反応に関する研究
- ・有機化合物の不純物除去技術又は分離精製技術に関する研究
- ・化学プロセス工学に関する研究

(2) 対象者：

- ・国内の大学または学術研究機関に常勤し，研究を主体的に行っている45歳以下の研究者
- ・同一の研究テーマで他の財団の助成金を受けていない方

(3) 募集期間：2020年12月1日～2021年1月31日

2. 助成内容：(1)助成金額 200万円/件(2)助成件数 2件

3. 連絡先：千葉県市川市上妙典1603番地 (公財)東洋合成記念財団事務局(TEL: 047-320-5766, e-mail: tgk_zaidan@tgcfnd.or.jp, HP: <http://www.tgcfnd.or.jp/>)

近化資源・環境セミナー 「温暖化から地球を守る， 環境対応型プラントの展望」

主催 近畿化学協会
協賛 有機合成化学協会関西支部

日時：2月25日(木)

開催方法：オンライン

プログラム：

1. 水と炭酸ガスから石油をつくり同時に炭酸固定を行う技術の実用化(立命館大総合科学)今中忠行
2. タイトル未定(ルネッサンス・エナジー・リサーチ)岡田治
3. アンモニアのオンサイト供給を目指して～アカデミアの基礎研究から実証機まで携わって来て想うこと～(つばめBHB)井上泰徳
4. バイオベースの新素材「改質リグニン」の地域導入型製造システム(森林研究・整備機構)山田竜彦

定員：80名

参加費：主催・協賛団体会員7,000円，大学・官公庁3,000円，会員外12,000円(テキスト<電子ファイル>・消費税含む)

参加申込方法：近化資源・環境セミナーのHP(<https://kinka.or.jp/event/2021/r2eco.html>)からお申し込み下さい。詳細はHPをご覧ください。

申込先：550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 近畿化学協会(TEL 06-6441-5531, FAX 06-6443-6685, e-mail: seminar@kinka.or.jp)

* * *